

【提出意見】

池 俊介（早稲田大学）

議題1 社会参画意識の育成について

論点2の「学校外施設の人材との連携について」（資料p.18）において、「博物館や郷土資料館などの施設を活用した授業」の実施率の低さについて指摘されていますが、同じく校外での活動である「地域調査」の実施率の低さと、恐らく原因はかなり共通しているように思います。その意味で、具体的な方向性として示された①地域人材等の活用の一層の工夫と仕組みの構築、②行政機関・学校外施設との連携協力、③デジタルコンテンツ等の効果的な活用の3点はいずれも重要だと思いますが、とくに①地域人材等の活用の一層の工夫と仕組みの構築の重要性が高いと思います。ただ、資料では各学校で「学習で活用した地域の資源や地域人材、学校外施設などを継続的に活用できるよう必要な情報を学校内で共有・引き継いでいくなどの工夫」の例示が提案されており、p.19では地域人材や地域素材をリストアップして共有する事例が示されていますが、「地域人材」と「地域素材」のリストアップにとどまらず、授業実践に関する具体的な教材に関しても学校内で共有する工夫が必要だと思います。学校外の施設や人材を活用していない先生方の中には、恐らく「地域人材」や「地域素材」だけを示されても自らの授業を組立てることに困難を感じている先生が多いように思いますので、具体的な教材の共有まで行わないと現実には学校外の施設を活用した授業実践には結びつかないのではないのでしょうか。

同時に、地域人材や地域素材の発掘自体は社会科の授業づくりの重要部分でもありますので、そのような授業開発にかかわる力を多くの先生方に高めて頂くことも大切だと思います。その意味で、中山委員も指摘されたように、身近な地域から教材を開発するための先生方を対象とした研修も不可欠だと思います。